

入試改革 国立大 「基本方針」公表！

国立大は外部検定、記述式必須！

旺文社 教育情報センター 29年11月13日

国立大学協会は11月10日、32年度から実施(33年度の入学者選抜)される、いわゆる入試改革について、国立大としての「基本方針」を公表した(「平成32年度以降の国立大学の入学者選抜制度 ー国立大学協会の基本方針ー」)。

各国立大はこの「基本方針」にのっとって新入試を設定するだろうし、さらに公私立大はそれを見て動いてくるだろう。「基本方針」は大きな影響力を持つものといえる。

【共通テスト】重要ポイント

①英語の外部検定

- ・一般選抜では1次試験として、共通テストの英語とあわせ、全受験生に外部検定を課す。

【解説】

共通テストでの外部検定利用については、受験者の経済的負担という非常に大きな問題を抱えている。国立の大学であればなおのこと非利用者枠を残し、検定弱者に対しても門戸を広げるべきとも考えられるが、全受験生に課すという方針となった。

利用方法については、共通テストの英語も外部検定も、ともに1次試験の位置づけで、具体的なイメージは不明だ。1次は共通テスト、2次で外部検定というなら利用方法も広がるが、1次で両方を課す方法については、本年度中をメドとしている国立大共通のガイドライン、来年度の各大学の予告を待つことになる。

②共通テスト 記述式(国語・数学)

- ・一般選抜の共通テストでは、記述式を含む国語・数学を全受験生に課す。

【解説】

ポイントは2つ。国立大は記述式が必須になるということ、記述式が出題される国語、数学IまたはIAが必須になるということだ。

今年7月、文科省の実施方針では、入試で利用する科目について、各大学に「すべての問いの活用を求める」とされていた。そのため、国立大での記述式の必須化は予想できた。しかし問題はもう1点ある。「すべての問い」という国の要求に対して、国語の古文・漢文まで必須化するのかという点だ。この点については基本方針では触れられていない。

【個別入試】重要ポイント

①高度な記述式

- ・一般選抜では、全受験生に高度な記述式試験を課す（「思考力・判断力・表現力」を評価）。
- ・複数の素材を編集・操作、自身の考えを立論、その過程を表現する能力などを評価。
- ・教科・科目、具体的な内容・方法は各大学で判断。
- ・各大学は募集要項等において、出題意図や求める能力等を示す。
- ・大学入試センターからの提供が構想されている「各大学個別入試用の記述式問題」について、利用する大学は実施時期を統一するなど調整。

【解説】

「高度な記述式」とは、新テスト記述式についての昨年11月当時の文科省案に対して、国大協が出した意見に見ることができる（28年12月8日「記述式問題に関する国立大学協会としての考え方」）。

当時の文科省の記述式案（国語）は、解答文字数80文字以上・以下の2パターンを出題するというもの。これに対して国大協は、以下の見解を示していた。

(1) 80文字以下＝全受験生に課す。

(2) 80文字以上＝利用しない。その代わりに、各大学が個別試験で「高度な記述式試験」を課す、あるいは入試センターが作成したこの問題を個別試験で利用する。

結局、記述式の構想は上記と異なるものに着地した。しかし国大協の(2)の見解は残り、今回の基本方針に盛り込まれた。

②調査書、志願者本人が記載する資料

- ・一般選抜で、これらの資料や面接等を活用する方法を検討。実施可能なものから順次導入。
- ・各大学は、調査書等の活用方法について募集要項等に明記。

【解説】

いわゆる主体性の評価がこれだ。学力の3要素の評価は入試改革の中心理念。しかし「一般選抜で全受験生」に主体性の評価をするのは現実的ではない。主体性の評価は全受験生か否か。この問題は文科省の実施方針でも曖昧なままだった。

基本方針を見る限り国立大は、「実施可能なものから順次導入」と、緩やかな表現に留まった。ただし「調査書等の活用方法を募集要項に明記」することになるので、いくらかの枠や何からの形で、主体性の評価は入ってくることになろう。

国立大がこのような方針となれば、公私立大も追従するだろう。結局、一般選抜での主体性の評価が全受験生に及ぶかどうか、入試改革初年度は、現実的な範囲内でスタートしそうだ。

●その他

①5教科7科目

- ・一般選抜の1次（共通テスト）ではこれまで同様、原則として5教科7科目を課す。

②分離分割方式

- ・一般選抜では、これまでどおり分離分割方式を継続（少なくとも現行学習指導要領における入試など）。
- ・今後、一本化を含めた実施時期にあり方について検討。

③学校推薦型選抜（現；推薦入試）、総合型選抜（現；AO入試）

- ・これらの丁寧な入学者選抜の取り組みを加速・拡大。

④入学定員管理

- ・現在の厳格な入学定員の管理について見直しが必要。国に改善を求めていく（例；収容定員の枠内で入学定員に自由度を持つ、認証評価で一定の要件を満たした大学に定員管理をある程度緩和する、など）。

●今後のスケジュール

- 本年度中をメド…各外部検定の試験結果や、記述式の段階別成績表示を用いた合否判定の方法について、国立大共通のガイドラインを定める。
- 来年度…各国立大による入試方法等の予告。